

## ☆クイズ☆

帯広ではどの季節に会える鳥かな？  
正しい組み合わせをつないでみよう！

答えは「ちびっこふぁーむ」に掲示しています。



オシドリ



オオワシ



アカゲラ

夏

なつどり  
夏鳥

夏に子育てを  
するために  
やってくる

一年中

りゅうちょう  
留鳥

渡りをせず、  
一年間ずっと  
帯広で過ごす

冬

ふゆどり  
冬鳥

帯広よりも寒い  
ところから来て  
冬を乗り越える

# Zoo Zoom

2022年  
春号

## おびひろ



エゾリス『どんちゃん』（♂ 6歳）

2016年5月20日に巣立ち直前に巣から落ちてしまったところを保護された。他のリスよりも食いしん坊で、一番にエサを食べにくる。一緒に飼育されている「ぐりちゃん」と、よく同じ巣箱で寝ている。



エゾリス



おびひろ動物園公式HP  
<https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/zoo/index.html>

おびひろ動物園情報誌  
『Zoo Zoom おびひろ』2022年春号  
発行日：2022年4月29日  
編集・発行：おびひろ動物園  
〒080-0846 帯広市字緑ヶ丘2番地  
TEL:0155-24-2437

# 春は 渡りの季節



季節によって、棲む場所を変える移動のことを「渡り」といいます。空を飛べる鳥でも、長い距離をわたるのは命がけ。なぜ、そんな大変な思いをして、渡るのでしょうか？



## 渡りのパターン1

夏を北海道で過ごす

なつどり  
夏鳥



あたたかい夏に、卵を産んで、子どもを育てるため北海道まで渡ってくる。

- 刈ッ 夏は北の方が昼の時間が長い！エサをたくさん探せる。
- 刈ッ 寒い北の方が天敵が少ない！ヒナが生き残りやすくなる。

## 渡りのパターン2

夏はもっと子育てしやすい さらに北へ

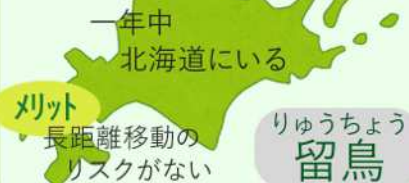


はるか北のシベリアで子育てをするため、北海道を離れていく。

- 刈ッ シベリアの冬は寒すぎる！北海道の方が過ごしやすい。

ふゆどり  
冬鳥

## 渡らないパターンもある



野鳥たちは、子育てや寒い冬を乗り切るために、季節ごとに過ごしやすい場所へ移動する戦略を取っているよ！

# 野鳥図鑑



**アカゲラ** 留鳥／全長24cm  
オスは頭の後ろが赤い。メスは赤い部分がない。  
鳴き声：キョッ、キョッなど



**シジウカラ** 留鳥／全長15cm  
のどからまっすぐ縦に通る「ネクタイ状の黒帯」が特徴。  
鳴き声：ジクジクジクなど



**ハシトガラ** 留鳥／全長13cm  
「黒いベレー帽」をかぶっているように見える。  
鳴き声：チヨチヨチヨなど



**ゴジウカラ** 留鳥／全長14cm  
背は青っぽい灰で目元に黒い線。頭を下にして幹を歩いておる。  
鳴き声：フィフィフィなど



**アオジ** 夏鳥／全長16cm  
頭は暗い緑。おなかは黄色。ゆっくりと明るくさえずる。  
鳴き声：チョッ-チョ、チーなど



**ハクセキレイ** 夏鳥／全長21cm  
尾羽を上下に振りながら歩く。長く飛ぶときは波を描く。  
鳴き声：チュン、チュンなど



**オオルリ** 夏鳥／全長16cm  
頭は濃い青、腹は白。メスは地味。高い木の上で、美しい声で鳴く。  
鳴き声：ピールリー、ジジッなど



**キビタキ** 夏鳥／全長14cm  
黒い背に、黄色い胸とのどと眉。メスは地味。明るい声で鳴く。  
鳴き声：ピー、ピッ、ユルリなど